

「安全安心・持続可能な埋立処分を創る」へのコメント

中平徹也（（財）岡山県環境保全事業団）

岡山でも、産業廃棄物処分場の残余年数が数年しかなく、新たな処分場の建設が求められています。

現在の状況をおはなししますと、

当事業団は、県内での産業廃棄物処分場の中心的な役割を果たしており、現在、新たな処分場を整備するため、候補地の選定後、アセスメントを実施中で、地元漁協に対しては、漁業補償を交渉中であります。

陸上処分場は、50箇所程度候補地について調査しましたが、地元の了解が得られない、発生場所から遠隔地である、水源がある、処理単価が大幅に増える(経済的に無理)などにより、建設にはいたりませんでした。

新処分場の建設に対し、大きな反対運動は起こっておりません。これは、当事業団の運営が非常によいこと(経済面・管理面)、大きな不安がないこと、跡地利用があることなどによるものと思っております。

参考となるかどうかわかりませんが、当事業団が産業廃棄物処分場の跡地利用として整備しましたパブリックゴルフ場の概要を資料として添付いたしますので、跡地利用が進まない現状での、利用例として見ていただければと思います。

処分場建設には、このような面での取り組が非常に大切と考えています。参考のためにメモしました。このような点についても議論していただければ有り難いと思います。

以上